

2025. 8. 27



渋谷ハチ公前で平和を求める宗教者
たちの行動＝26日、東京都渋谷区

学生・外国人が飛び入り

宗教者団体でつくる「平和をつくり出す宗教者ネットワーク」など4団体は26日、「だれも殺すな！パレスチナ・ウクライナ・ミャンマーの市民のいのちを救おう！」として、東京・渋谷のハチ公前で「祈念行動」に取り組みました。参加者たちは、差別や戦争に反対し平和を呼びかけました。今回で35回目。飛び入り参加の学生や外国人も見られ、主催者

発表で30人超が参加しました。参加者は、イスラエルによるガザ攻撃とジェノサイド（集団殺害）を厳しく非難し、ただちにやめるよう訴えました。イスラエルがガザへの食糧支援を妨害し飢餓を広め、ジャーナリストを殺害していると、日本政府に対し、イスラエルへの制裁とパレスチナの国家承認を求めました。

「カトリックとイスラムは協力の歴史もある」と語るカトリック信徒の女性は「イスラエルが神の名を用いて戦争を正当化してはならない。宗教を利用することは神の御心（みこころ）でない」と同国を批判しま

ガザ攻撃厳しく非難 宗教者ネットが渋谷で行動

した。
参加者らは色とりどりの

ブラカードや横断幕などを掲げながら、パレスチナの旗を振り、平和を呼び掛ける歌を交えつつ、日本語と英語で訴えました。行動の様子をカメラに収める外国人や観光客も相次ぎました。